

イラク全土が戦争状態

イラク派兵反対

殺すな、殺されるな。アメリカの無法な戦争のために、日本人の血を流すな。いまこそ平和の声をあげましょう！

政府は、アメリカにいわれるままに、自衛隊をイラクに派兵しようとしています。これは、イラク国民の支援のためでなく、米英の占領軍支援です。だから歓迎しているのは、イラク国民でなく、アメリカです。フランスも、ドイツも、ロシアも、アラブ諸国も、軍隊を派兵していないのです。必要なのは、軍事占領でなく、主権をイラク国民にかえし、国連のもとで復興・人道支援をすすめることです。

私の恋人は自衛隊員です。毎日が不安でなりません。小泉首相の無責任な発言に腹が立ちます。なぜ戦争が起きてしまったのか、なぜ止めることができなかったのか、いろいろなことが頭をよぎります。自衛隊のイラク派遣、本気でやめて下さい（札幌市・女性 「朝日」投稿欄から）

イラク派兵あなたのご意見は？

反対 55%

賛成 32%

（「朝日」10月24日付）

NO 70.4%

YES 27.0%

（フジテレビ11月16日放送）

自衛隊は危険な仕事に

ラムズフェルド米国防長官は10日、イラクでの自衛隊の任務について「危険な仕事」と認めました。「イラクは戦闘地域」（アーミテージ米国務副長官）、「戦争」（サンチェス司令官）です。自衛隊派兵は絶対ダメです。

小泉首相は、「テロに屈してならない」「イラクをテロの巣窟にしてはならない」などといって、自衛隊派兵を正当化しています。とんでもありません。イラクを「テロの巣窟」にしたのは、大義なきアメリカの戦争です。「アメリカが無法にもイラク攻撃をすれば、口実を与え、かえってテロをはびこらせる」と警告されていました。



イラク戦争ではなんの罪もない多くの子どもたちが傷つき、犠牲になっている

安保破棄中央実行委員会

電話 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765
<http://homepage1.nifty.com/anpohaki/>